

様式2 管理運営状況評価書

【対象年度:平成24年度】

(⑤その他の施設)

1 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

番号	3	施設名	森林果樹公園		担当課名	地域支援課	
区分			内容・説明				
1 施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	掛川市都市公園条例及び掛川市都市公園条例施行規則					
	(2)施設設置目的	森林果樹公園は「小笠山の美しい自然景観と貴重な資料を守るとともに、散策を楽しみながら、充実した果樹の見本園として広く市民の皆様に見ていただける生涯学習都市にふさわしい公園」として整備され、公共の福祉に寄与することを目的とした公園である。					
	(3)施設が有する設備、機能の概要	全体面積12.5ha 40種類 1,200本の果樹 多目的広場 芝生広場 管理東 直売所 野鳥観察小屋 展望台 園路					
	(4)施設建設年度	平成6年2月1日（供用開始日）					
	(5)耐震性能の有無	—					
	(6)将来予想される改修経費（想定年度と費用見込み）	自然散策路(園路) 3,000,000 円					
		展望台 450,000 円					
		管理東 150,000 円					
		駐車場の整備(白線)					
	(7)指定管理者名	公益社団法人 掛川市シルバー人材センター					
	(8)指定期間	平成24年 4月 1日 から 平成27年 3月31日 まで					
	(9)施設の管理運営形態	①指定管理料のみによる運営					
	(10)自主事業の有無	☒ 実施あり ☐ 実施なし		※実施ありの場合は、収支状況を3－(3)欄に記入のこと。			
(11)指定事業の有無	☐ 実施あり ☒ 実施なし		※実施ありの場合は、収支状況を3－(3)欄に記入のこと。				
(12)事業報告書提出の有無	☒ 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) ☐ 提出なし						
(13)利用者満足度調査等実施の有無	☐ 実施あり ☒ 実施なし		※実施ありの場合、(直近の実施年度 平成 年度)				

区分			H22実績	H23実績	H24実績	H25当初	備考
2 利用状況	(1)施設利用者数		0	0	8,330		
	(施設・設備ごと)		—	—	8,330		
	(2)稼働率(利用率)						↓ 備考欄に算定式を記入してください ↓
	(施設・設備ごと)	A平日昼間					
		B平日夜間					
		C土日祝昼間					
		D土日祝夜間					

2 利用状況	(施設・設備ごと)		A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
			A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
			A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
区分			H22実績	H23実績	H24実績	H25当初	備考	
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名		—	—	(公社)掛川市シルバー人材センター	(公社)掛川市シルバー人材センター	※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入	
	(2)利用者一人当たりの運営経費		—	—	1,274			
	(3)運営日数		—	—	302	302		
	(4)運営人員	①正規職員	—	—	0.0	0.0	※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。	
		②臨時職員	—	—	10.0	10.0		

2 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25当初予算額	備考
	①人件費	—	—	9,047,767	8,972,000	管理者及び改印の配分金合計
	②印刷費	—	—	0	100,000	
	③通信費	—	—	106,183	50,000	

(1)運営コスト(A)	④事務用品、旅費、図書費など	—	—	737,067	950,000	
	⑤借上料	—	—	284,865	289,000	
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	—	—	165,140	135,000	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	—	—	271,788	3,026,000	
	計	0	0	10,612,810	13,522,000	
	対前年度増減率		—	—	27.4	
区分		H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	0	0	0	0	
区分		H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	②修繕費			1,673,494	1,257,000	
	③光熱水費			217,645	250,000	
	④燃料費			106,246	110,000	
	⑤清掃費			0	0	
	⑥保守点検費			152,019	74,000	
	⑦その他(施設消耗品)			1,037,786	1,550,000	
	計	0	0	3,187,190	3,241,000	
	対前年度増減率			—	1.7	

(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A)+(B)	0	0	13,800,000	16,763,000	
(4)合計のうち運営コストの割合	0.0	0.0	76.9	80.7	
(5)施設の収入 ※1)下記3に入力する	0	0	△ 11,654,950		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合	0.0	0.0	20.2		

3 収支差額の状況 注【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	備考
a) 施設使用料収入	0	0	2,145,050	※果樹売り払い収入は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	0	0	13,800,000	
収支差額 a)－b)	0	0	△ 11,654,950	

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	備考
a) 施設利用料金収入	0	0	0	
b) 収支差額(a－トータルコスト)	0	0	0	
c) bに対する市の支出額(指定管理料)	0	0	0	

(3指定事業及び)自主事業の状況

(単位:円)

区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	備考
a) 指定事業の収入	0	0	0	
b) 指定事業の支出	0	0	0	
収支差額 a)－b)	0	0	0	
c) 自主事業の収入	0	0	2,231,989	剪定講習会参加費、しめ縄、堆肥販売
d) 自主事業の支出	0	0	2,094,623	
収支差額 c)－d)	0	0	137,366	

4 施設管理所管課(市担当者)としての見解と改善提案

検討項目	現状分析と課題	左記課題を解決するための改善提案(いつから、誰が、何を、どうする)
(1) 施設の収支差額の改善について 【行革推進係から】 いくら公の施設とはいえ、毎年巨額の収支差額を生じ、不足分を市民の税金で賄うことが果たして適正な経営といえるのでしょうか？ 知恵と工夫により、少しでも収支バランスを改善することを念頭に、類似施設の統廃合も含めて、施設運営のあり方を考えましょう。	当施設は掛川市の提唱している「生涯学習」を推進する施設で、そのコンセプトは、見る、香る、聴く、触れる、味わうの5感を楽しむ公園である。都市公園であるため入園料等は徴収不可であり、収入は手塩にかけた良質な果樹を安価で販売するのみ。但し、開園から20年余を経過し、多くの果樹が植替えの時期となっていること、また、施設内の散策路や展望台等の施設の老朽化が顕著であり改修が必要である。来園者及び施設を利用する市民等の安全性の確保からも喫緊の課題である。	園内で栽培された果樹の収入を増加させるため、果樹の植え替えにあわせて良質な品種への転換や市場ニーズにあった果樹の植樹を行っていく。また、H26年度末には民間資金での公園内便益施設が設置される予定であるので、果樹公園内の果樹の利活用促進のため、便益施設にて活用できる果樹の検討と、利用できる果樹への転換を進めていく。
(2) 利用者数の増加について 【行革推進係から】 一部の人がしか使わない割りに、毎年たくさんの指定管理料が支払われていませんか？ より多くの利用者を獲得するために、市としてどんな事業展開を考えますか？	現状に於いては掛川市民はもとより、市外からの利用者も数多く来園している。一例としては毎年8月に開催する「果樹公園フェア」では、市内外からの親子によるナシのもぎ取り体験やブルーベリー狩りなどを行い、一般市民など約750人余が来園し大好評を博している。また、一般市民を対象として果樹の剪定講習会を開催、約350人が参加し楽しみながら技術の習得を实践している。今後も、さらに内容を充実したイベント等を計画し、開催することで多くの来園者を獲得していく。	魅力的な公園にしていくため、現在の自主事業の内容精査や新たな事業の検討を行う。また、散策路や展望台の改修していきたいが、予算が限られているため2～3年掛けて段階的に行っていく。
(3) 利用者の満足度向上について 【行革推進係から】 市の政策目的の達成に見合う事業が行われているでしょうか？ 毎年決まった事業内容やイベント等でなく、利用者の関心を引きつけ、魅力ある施設運営をめざしましょう。	上記に記載のとおり、特徴のあるイベント等を継続して開催し、また、当施設を利用して新たな事業を企画提案等で計画し展開して行くこととする。継続事業については、内容の更なる充実を図ることで利用者の満足度向上を実現していく。	現在行っている自主事業の内容見直しのため、指定管理者から事業提案をさせ、新たな事業の検討を行う。 現在の公園内には冬の期間には果樹がなっていないため、その間の果樹を検討する。

5 その他自由意見